

水と生きる

1章 潤す

利根川最上流の矢木沢ダムから下流に9キロ。首都圏の水がめの一つである藤原ダム(みなかみ町藤原)は1947年のカスリーン台風を受け、洪水被害を防ぐ目的で計画された。58年の完成から来年で60年。治水と引き換えに湖底に沈んだ古里を語る人も、歳月の流れるとともに少なくなっている。

湖底に沈んだ古里

集古館の館長、吉野仍次さん(82)は振り返る。ダム建設に当たり、集古館の半数、約1600冊が立ち退きを迫られたという。旧建設省が補償や移転先などの具体案を示さないまま工事を進めていたとして、有志が53年、建設に反対する期成同盟を結成。農作業に使うむしりで急造した旗を掲げ、国会議事堂まで抗議に出向いた。



ダムに沈んだ民家の農具を前に語る吉野さん

「又も みなかみ町にある幸アダムのうち、藤原地区に四つが集中する。今年で完成50周年の矢木沢、利根川水系の権俣川に位置する奈良原、利根川と権俣川の合流地点にある須田川とその下流の藤原。それぞれ洪水調節や利水、水力発電などの役割を担っている。体が好景に沸いた。建設後は人が減ったが、ダム湖である藤原湖にはボートや遊覧船が浮かび、「ダム観光」に期待が寄せられた。ただ時間の経過とともに

農機具現金買取

トラクター・田植機・コンバイン など
お気軽に一度ご相談ください!

群馬県内出張査定無料

農機具の現金買取なら... みんなの4000番 0120-37-4000

藍田正雄さん死去

77歳

江戸小紋師の藍田正雄(あいだ まさお)氏が9日午後10時45分、肝不全のため、高崎市足門町の自宅で死去した。77歳。通夜は13日午後6時から、告別式は14日午前11時からともに同市寺尾町1-064-57の市斎場で行われる。奥主は長女のみつ子さん。本県の絹文化をけん引し、後継者の育成に力を注いだ藍田氏の訃報に関係者は悲しみ、故人をしのんだ。



藍田氏は1940年、茨城県生まれ。77年に旧群馬町に工房を構えた。日本伝統工芸染織展で文化庁長官賞など受賞多数。99年、県指定重要無形文化財保持者。木目のようなモアレ(うねり)を表現した「板引き歪」など独自技法を開発した。

楽しくプログラミング

前橋、高崎で7、8月講座

次世代を担うプログラミング人材を育てよう、と、上毛新聞社とシステム開発のクライム(高崎市栄町、金井修社長)は、8月の両月、共愛学園前橋国際大や高崎商科大などと協力して、小中学生にプログラミングの基礎を教えるジュニアプログラミングスクールを開く。12日午前9時から公式ホームページ(https://www.sdp-awa.jp/)で応募を受け付ける。ゲーム感覚でプログラミング

館林で37.8度 3日連続 全国最高

県内は10日、高気圧に覆われて気温が上昇し、館林で3日連続の全国最高となる37.8度を記録し、13観測地点のうち4地点で猛暑日となった。

不審者 45%が夕方 1〜5月 県警まとめ

今年1〜5月に県警に寄せられた不審者情報は319件で、45%に当たる145件が午後3〜6時の下校時間帯に発生した。県警は、問い合わせの上毛新聞社事務局(027-254-9955)へ、日時が次の通り。

【前橋校】7月22、29日、8月19日(いずれも午後0時40分から90分間) 【高崎校】7月22日、8月5日(午前10時、午後1時、午後3時)の3回でいずれも90分間

高崎市吉井町は「いろいろな人と交流し、他の作家に惜しみなく紹介してくれた。本県作家の活性化に欠かせない人材を失い、本当に残念」と肩を落とした。後継者の育成に熱心で、昨年8月には教子4人が日本伝統工芸展で入選した。29年前に最初の弟子となった田中正子さん(65)は「同市鼻高町は「入賞すると自分のこと以上に喜んでくれた」と振り返った。田中さんによると、藍田

氏は今月1月にがんを患っていることを知った。「抗がん剤治療をすれば、80歳まで頑張れるだろう」と意気を見せていたが、最期は希望していた自宅で家族や弟子に見守られて息を引き取ったという。藍田氏の工房を引き継ぐ藍田愛郎さん(39)は同市足門町は「一人のつながりを大事に、来る者は拒まなかった親方の姿勢を受け継いでいきたい」と語った。

九州北部の豪雨被害を受け、下仁田町は10日、支援物資と義援金の受け付けを始めた。支援物資はデッキブラシと採用モップ、いずれも未使用の長靴、子ども用衣服、下着の5種類に限

と、新前橋発水上行き普通列車のパンタグラフが衝突した。木を伐採するため、渋川一水上間で運転を見合わせた。下りは5時間10分後に再開されたが、上りは同日中に再開できなかった。JR東日本高崎支社によると、上下計15本が運休、渋川一水上間でバスによる代行輸送をした。約1800人の足が乱れた。

酒気帯び運転 容疑の男逮捕 高崎署は10日、道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで、高崎市並木町、会社員、田中明容疑者(50)を現行犯逮捕した。逮捕容疑は同日午後1時10分ごろ、同市間屋町の市道で、酒気帯びた状態で軽乗用車を運転した疑い。同署によると、容疑を認めている。同日1時ごろ、田中容疑者が同市浜町の県道高崎渋川線で市内の男性(68)の乗用車に追突して発覚した。

九州豪雨義援金 受け付け開始 群銀、ベシシアグループ 群馬銀行前橋支店は11日から九州北部豪雨の被災地を支援するため、本店や支店を義援金の取り扱いは始める。全国地方銀行協会の加盟4行が共同で取り組む。手数料は無料で、取扱期間は8月31日まで。振込先の口座は西日本シティ銀行天神支店、普通預金31135800。受取人口座名は「平成29年九州北部豪雨災害義援金」。

下仁田町も支援物資きょうまで受け付け 九州北部の豪雨被害を受け、下仁田町は10日、支援物資と義援金の受け付けを始めた。支援物資はデッキブラシと採用モップ、いずれも未使用の長靴、子ども用衣服、下着の5種類に限